

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年1月29日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課		代表者名	藤原恵美子
担当者部署	健康増進課		連絡先電話番号	078-341-7711
担当者役職	主任	担当者氏名	田村安理沙	連絡先E-mail
住所	6500011 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"> 2日目のグラレコや自治体より提出された好事例をもとに分析の流れをご説明いただき、2日目の振り返りを効率的に行えた。また、仮説の評価や施策立案のポイントを解説いただく他、2回の広域セッションを取り入れていただき、自治体間でワークシートを共有・発表することで、各団体のワークシートをブラッシュアップすることができ貴重な時間となった。 長時間のオンラインでも疲れないよう、講義とワークショップ、休憩等の時間配分を考慮いただけた。適宜質問に対するコメントも丁寧にご回答いただいたり、各セッションの中でもコメントをいただけた。
アドバイザーへの要望事項	各団体より提出されたワークシートやアンケートより次年度以降の研修会のあり方を検討し、次年度以降もデータアカデミーを継続していきたいと考えているため、課題に応じた支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年1月25日	13時00分	16時45分	5	220
3-2. 派遣場所	会場名	兵庫県職員会館		最寄駅	県庁前
	所在地	同上		最寄駅からの交通手段	同上
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 県・市町衛生・国保・高齢・地域福祉関連部署に所属する事務職・保健師・管理栄養士	人数 170人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)</p> <p>昨今、健康関連のデータベースが増えておりデータの活用の重要性は認識されているが、データの活用が目的となり、多くの分析をしても現場の保健事業までつながっていかず、分析にとどまり、関連課と連携がとれておらず切れ目のない包括的な施策展開に至っていないという課題を抱えている。そのため、本ワークショップを機に、国保、健康、高齢、地域福祉等の関係部署間で組織横断的な連携してデータアカデミーを進め、課題を共通認識した上で解決していく場の創出が必要と考えている。</p> <p>支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)</p> <p>各自治体を感じている課題について、データアカデミーのプロセスを学び、自治体職員が課題解決していく力を向上する。また、県下の自治体の課題感のみならず、仮説の設定やデータ分析・評価、施策立案についても、好事例を共有し合いながら効率的な施策展開につなげていく。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮説の評価 政策立案 <p>支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮説を評価することで、課題が間違っていたことに気付いたり、影響度を考えることで、施策の優先順位やターゲットを意識することができた。また、セッションで他者の発表を聞いたり、実際に発表することで相手にわかりやすく伝える方法を学ぶことができた 施策立案では、もう一度最終的に達成したいゴールを確認し、政策・施策のツリーの作成、施策を要素に分解していく手法を学べた。また、セッションの中で、ワークシートを共有することで、新たなターゲットに気づいたり、自治体間で共通の施策もみえ、自治体間の連携の機運が高まった。 <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。①事業に係る計画書を策定できた 仮説の評価・施策立案のワークシート</p> <p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)</p> <p>施策立案のブラッシュアップ、不足していたデータの再整備</p> <p>アンケートの内容と分析結果</p> <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 提出期日が2月15日となっているので、後日送付する</p> <p>5-3. 今後の計画</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する</p> <p>事業の最終的な目指す姿</p> <p>各自治体がデータアカデミーのプロセスを理解し、データを活用し現課の課題を解決できる。さらには、自治体間で広域的な連携を深め、より効果・効率的な施策展開を進める。</p>	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

